

☆大分遠征を実施しました！

5月31日から1泊2日で、**選抜選手18名**による大分遠征を実施しました。選手権大会開幕までひと月弱となり、追い込みとチームの機能向上を目的としました。直前に体調不良者が数名出る事態になり、本来の戦力が整わない中での遠征になりましたが、どのような状況でも勝ちを目指し戦い抜く練習ができました。また、**1年生から田村桜大投手が初の本戦に帯同し、チームに新たな可能性をもたらしました**。甲子園経験校の杵築高校をはじめ、カラーの違う3校と対戦させていただいたことで多くの収穫が得られたと思います。遠征であがった課題を一つひとつ丁寧に潰していきたいところです。

対戦結果

日程	対戦校	結果	バッテリー	安打数	長打	失策
5月31日	大分豊府	●3-11	網本匠、田村 - 松村	7	(二)中村	5
	杵築	○4-3	那須 - 松村	12	(二)中村	3
6月1日	宇佐産業科学	○2-0	網本周、那須 - 松村	6	(二)中村	1
	宇佐産業科学	○8-4	高杉、田村、網本匠-網本賢	13	(三)松村、網本匠 (二)松村、西村、高杉	4

投手陣は、那須(3年)と網本周(2年)を中心に5名の投手が登板した。那須、網本周は長いイニングを投げ、試合を作る練習ができた。ただ、先頭打者や、流れのよい場面でボールが先行してしまうケースが目立った。「流れ」を意識した投球に今後磨きをかけていきたい。主戦の2人の投手に加え、変則サイドハンドの高杉(3年)や、網本匠(2年)、田村(1年)の精度があがってくると投手陣の層はより厚くなる。

内野陣は、春の大会以降着実に成長は見られるが、要所での失策、送球面に課題が残る。ひとつの失策が後を引くケースが見られるので、残された時間でしっかり練習し、自信をもって大会に入ってほしい。外野陣には、間を抜かれたり、頭を越されたりするケースが増えつつあるため、ポジショニングを工夫する力や球際の勝負強さを磨いてほしい。

攻撃面は、打たされての凡フライや、詰まり・ひっかけが多く、チャンスで一本やここぞの連打ができるように大会までに状態を上げ、バントの確実性も見直していきたい。

いずれにせよ、ここから「技術・能力面」を夏までに飛躍的に成長させることは難しい。「**意識すれば誰でもすぐにできることを、限りなく100%徹底する**」ことを大切にし、個人・チームとして最終調整に入っていきたい。残りひと月弱で「勝つに値するチーム」に少しでも近づけるよう、選手・スタッフ一丸で精進していく。

☆第107回全国高等学校野球選手権山口大会の抽選会は、**6月13日(金)**です。本校は抽選次第で津田恒美メモリアルスタジアム(周南市)か絆スタジアム(岩国市)のいずれかが会場になります。

大分遠征のようす



↑2日目の朝食前、体を起こすための散歩を兼ねて、遠征恒例の宿舍周辺の清掃活動を約20分間実施しました。野球のプレー以外でも「勝つに値するチーム」を目指したいと思います。

☆新戦力の育成を目指して… 「サブ戦」の実施状況

6月12日現在、本戦とは別に「サブ戦」を10試合実施しました。結果は全敗中ですが、少しずつ勝負できるようになってきました。プレー以前に、まずは「気持ちを前面に出して野球に向き合う」「凡事徹底ができる」選手が増えてくれることを期待しています。1年生に関しては、おとなしい選手が多いですが、バットを振れる選手が多く、特に打撃面での貢献が期待されます。投手陣の成長も楽しみです。サブ戦で結果を残し、田村(投手)、藤田峻八・梅岡(内野手)の3名の1年生が本戦練習試合での出場を果たしています。他の1,2年生にも十分に活躍のチャンスがあります。多くの新戦力が加わり、チーム自体の活性化を目指します。

☆選手権までの残り試合日程:

6月14日(土): 下関エ W【於 関エ G】10:00~

同 上: (サブ戦)光 W【於 ☆下松エ G】10:00~

6月28日(土): 宇部西 W【於 ☆下松エ G】10:00~

7月5日(土): 萩 W【於 萩 G】10:00~

7月12日(土)~ 第107回全国高等学校野球選手権山口大会